

グローバル化を牽引する人材育成プロジェクト

◆ グローバル化推進支援経費 ◆ 事業代表者：国重 徹（国際交流推進委員長）

事業概要・目的

- ◆ スポーツや武道を通じて国際的に活躍するには、コミュニケーション能力や英語力、グローバルマインドが不可欠である。
- ◆ しかし近年の物価上昇や円安の影響により、海外での研究にかかる費用は増大し、意欲ある学生が機会を失いかねない。
- ◆ このような状況を踏まえ、若手研究者育成・支援の一環として、国内外の国際学会等で研究発表する大学院生を対象に、「国際学会発表旅費支援」として旅費等にかかる経費の最大60%を支援する。

達成すべき目標(定性)

- ◆ 帰国後に提出する研究成果報告書および学会発表ポスターにおいて、専門知識の深化、語学力の向上、国際的発信力の強化などの成果が具体的に示されること。あわせて、情意面での積極性の向上が認められること。

令和6年度事業内容

- ◆ 令和6年5月14日～9月27日、学内で募集を実施した。6名から申請があり、国際交流推進委員会にて選考し、採択者を決定した。帰国後に学生が提出する証明書類等に基づき、最終的な支援額を決定した。

令和6年度実績

- ◆ 申請者数：6名(修士3名、博士3名) ◆ 採択者数：5名
- ◆ 支援総額：971,000円

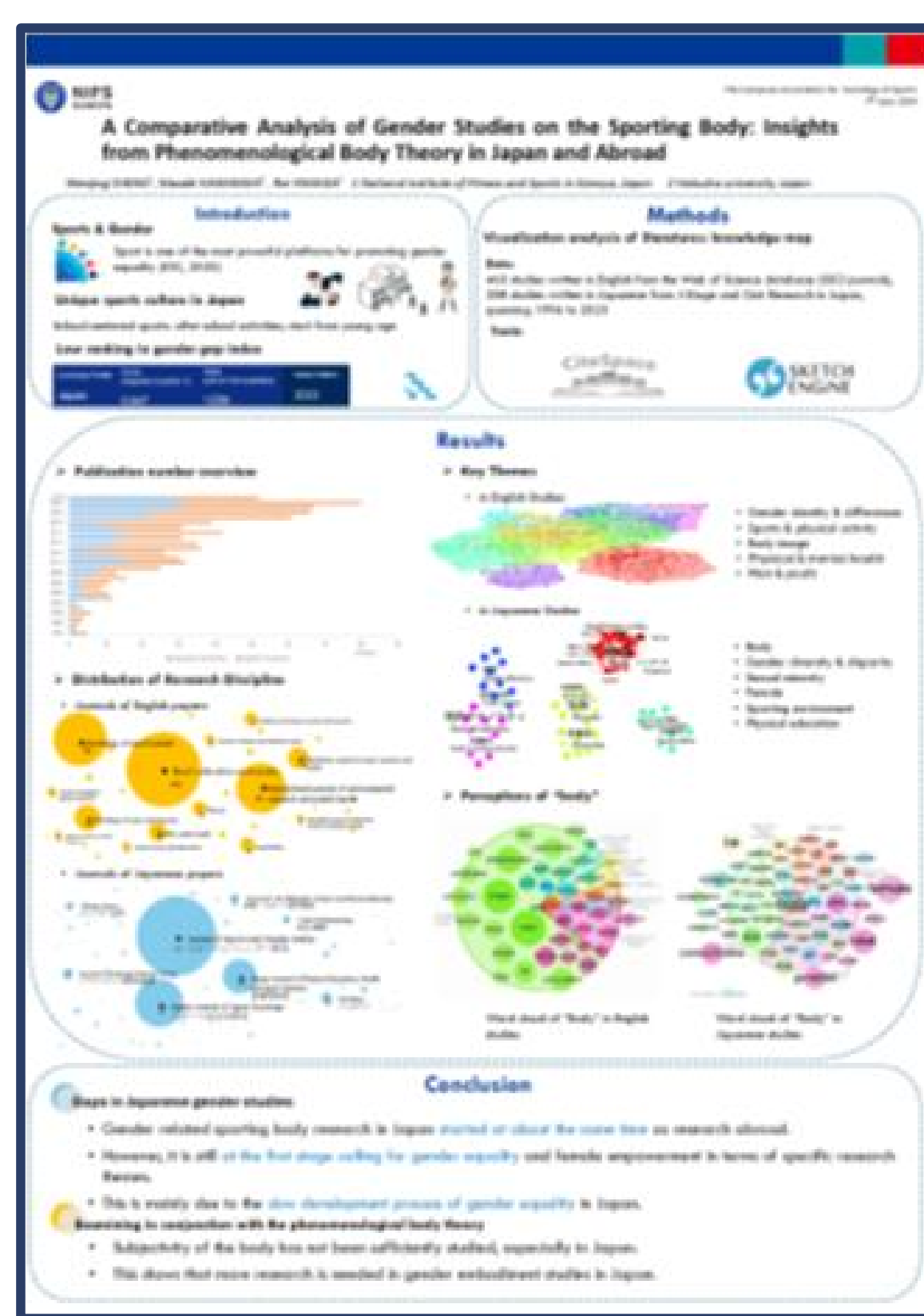
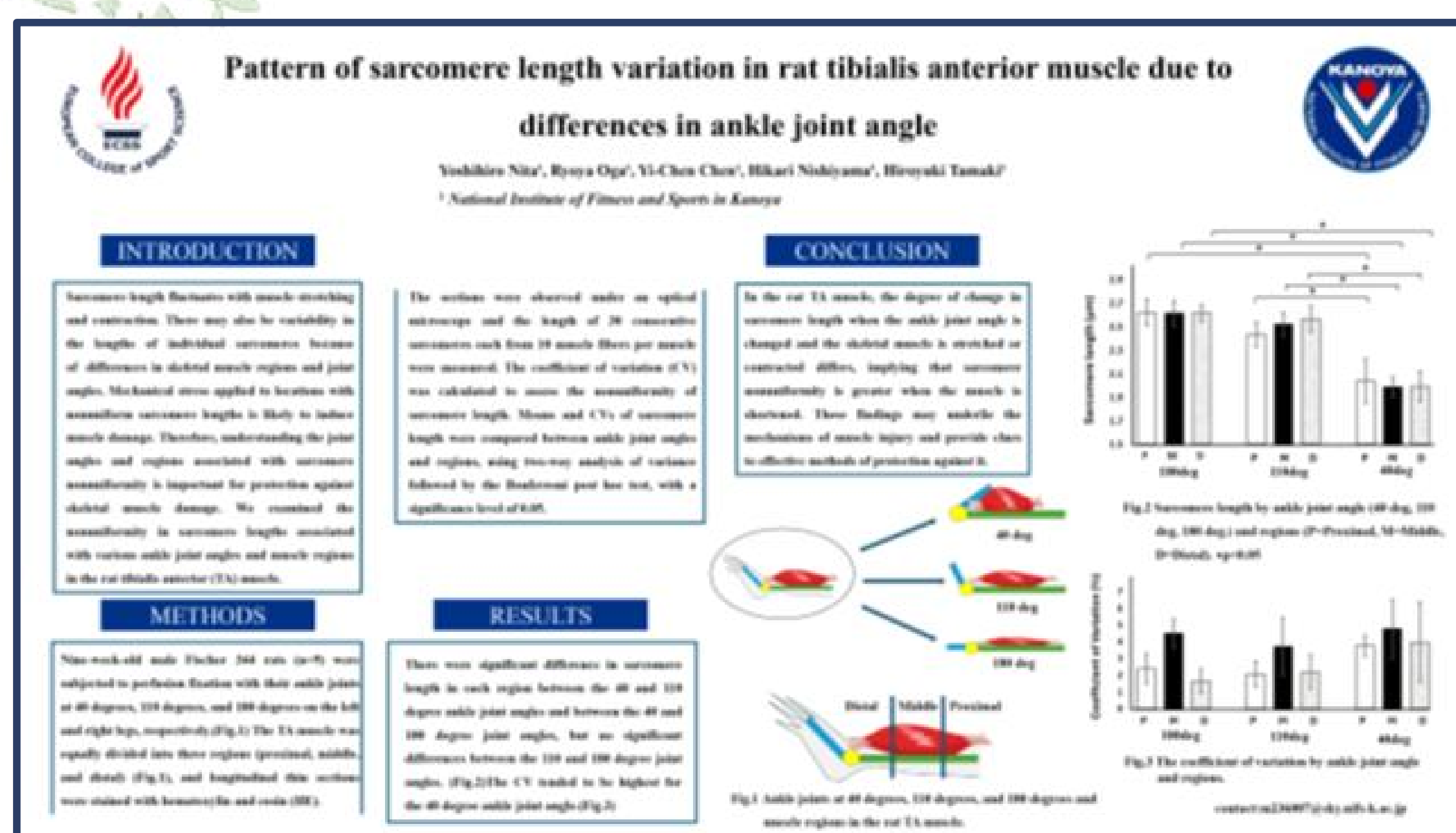
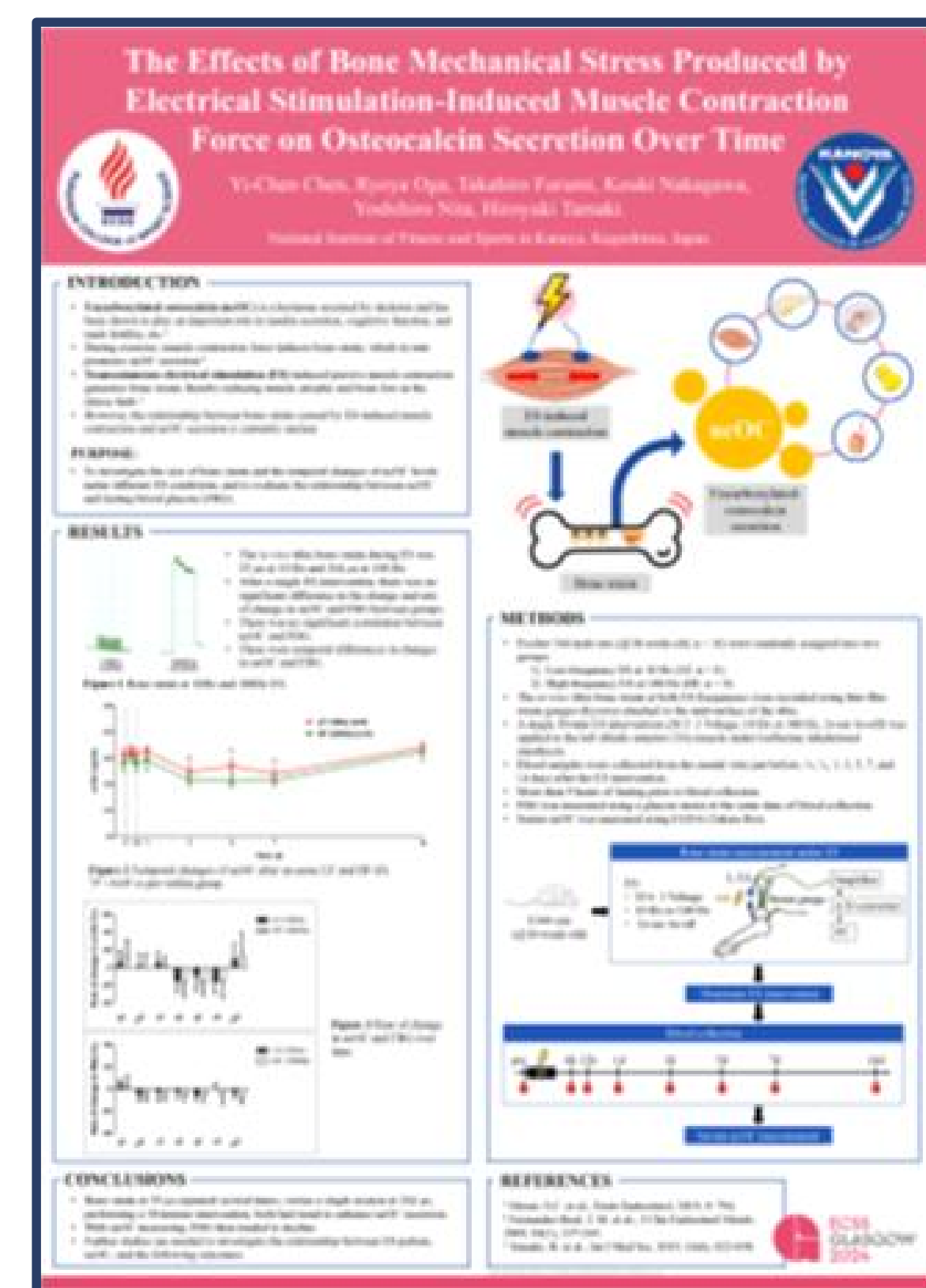
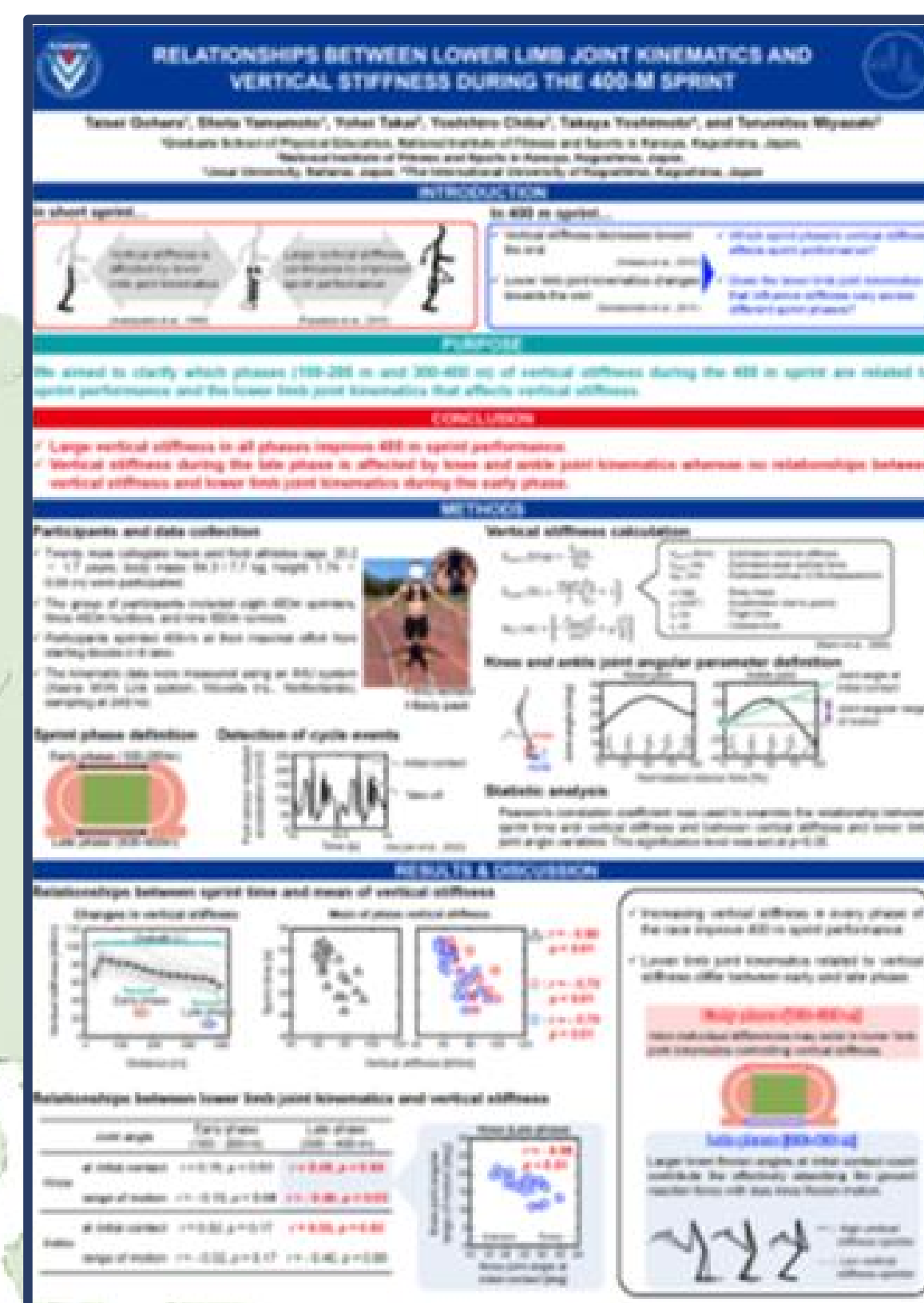
ポイント

- ◆ 採択者の「国外」渡航率は100%。令和5年度の40%から1.5倍増。(参考：令和5年度 国内3名、国外2名)

所属	国際学会名	発表形式	派遣先
①博士課程	ECSS Glasgow 2024	口頭	United Kingdom
②博士課程	ECSS Glasgow 2024	ポスター	United Kingdom
③修士課程	ECSS Glasgow 2024	ポスター	United Kingdom
④修士課程	International Society Biomechanics in Sports	ポスター	Austria
⑤博士課程	第20回ヨーロッパスポーツ社会学会	ポスター	Spain

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止したこともあり、令和4年度に事業を再開した際は採択者1名(申請者1名)にとどまった。翌令和5年度には、採択者5名(申請者6名)と大幅に回復。令和6年度もこの水準を維持しており、国際学会への参加・機運が一過性のものではなく、定着していることがうかがえる。

成果（学会発表ポスター及び研究成果報告書）



研究成果報告書より抜粋・要約

得られた成果

- ◆ (口頭発表) 10分間のプレゼンテーションと5分間の質疑応答による口頭発表、かつ英語でという初めての経験。事前準備を含め国際的な研究者として成長することができた。共同研究や大学間の情報交換など大変有意義な話し合いができた。

- ◆ (ポスター発表) 研究のフィードバックを受けることで、質を向上させることができた。

- ◆ (ポスター発表) 世界中の専門家や学者と交流することで、自身でも気づかなかったことに気づいてもらえ、研究の幅が広がるだけでなく英語能力も向上した。

- ◆ (ポスター発表) 多くの方にポスターを見てもらうため、積極的に声をかけ批評やフィードバックを受け取った。

- ◆ 今後も若手研究者の研究力向上及び経済支援のため、本事業を継続する。

今後の展望

- ◆ 令和7年度からは、事業の成果検証を目的に、採択者に対し同一の自己評価を実施するとともに、発表形式に応じて支援比率を見直す。これにより、一律60%支援から、口頭発表の場合は最大80%まで支援するなど、発表者の活動内容や負担度合いを踏まえた支援体制に移行する。